JAはだの

発行所
秦　野　市
農業協同組合
（神奈川県）

〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹

編集兼発行者 宮永 均

シャッターチャンス

シクラメン 色鮮やかに

高橋さんの温室に咲き誇る色彩豊かなシクラメン

クリスマスや年末年始の贈答用などとして人気の高いシクラメン。県内有数の産地である秦野市で出荷が今月上・中旬にピークを迎え、花き部会鉢物部の部員は連日作業に汗を流した。

大秦町で30年以上シクラメンを作り続けている高橋洋平さんも、出荷に励む一人。管理する温室では赤やピンク、白など色とりどりのシクラメンが咲き誇っている。高橋さんは「今年もボリュームがあり、納得の出来に仕上がった。品質の高いシクラメンを消費者に届けていきたい」と笑顔で話した。

今月の特集

４～５面

クリスマス地場産で華やかに

じばさんずの出荷者が、地場産農産物でクリスマスムードを盛り上げた。市内の洋菓子店では、秦野産の魅力たっぷりのクリスマスケーキも登場した。

年忘れ年末市を開催！

だるまやおせち豊富に取りそろえ

「年忘れ年末市」を12月28日（水）～30日（金）の3日間、午前9時から午後3時までじばさんずで開催します。

正月には欠かせない、だるまやお飾り、農家手作りのおせち料理などを豊富に取りそろえています。他にも、新鮮で安全な地場産農産物を安価でご提供！　併せて秦野市園芸協会主催の「冬まつり」も開催します。ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ご来場ください。

篤農家ら23人表彰

大山阿夫利神社で新穀感謝祭

多くの組合員が参加した新穀感謝祭

伊勢原市の大山阿夫利神社社務所で5日、新穀の豊かな実りを祝い感謝する「新穀感謝祭」が開かれた。JAはだの、JAいせはら、JA湘南から組合員ら200人以上が参加し、厳かに神事が執り行われた。

参加者を代表して、宮永均専務が「農家の所得向上や地域活性化に向け、JAは自己改革を進めている。農家の皆さんの力をJAに結集してほしい」とあいさつした。

JAはだのからは篤農家22人と職員1人が表彰を受けた。表彰者は次の通り。

◇篤農家▽大根地区＝須藤克己（南矢名）安味孝明(南矢名)清水義雄（鶴巻北）▽本町地区＝石井章一（上大槻）小島敏雄（上大槻）小泉義昭（曽屋）▽東地区＝山村昇（東田原）横溝良明（落合）▽南地区＝加藤正光（平沢）小泉敏雄（今泉）大庭昭（西大竹）▽北地区＝山口孝嘉（横野）桐山元通（戸川）久保寺重雄（戸川）▽西地区＝村上幸雄（堀山下）山口正敏（堀山下）佐藤順一（堀川）石井優行（堀川）▽上地区＝和田薫（柳川）小宮義雄（八沢）飯澤榮一（三廻部）諸星正範（菖蒲）

◇職員▽宮村彰浩（経済部経済課生活資材兼配送係長）

メール情報配信サービス
QRコードで登録を

JAはだのは、携帯電話やパソコンなどのメールを利用した情報配信サービスを行っています。月2回のメールマガジンと、営農・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。上記のQRコードを読み取り、簡単な手続きを進めるだけで登録できます。

お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

CO$_2$削減目指して
電気自動車充電器を設置

JA本所駐車場に設置した電気自動車の急速充電器

JAはだのは、じばさんずを拠点として取り組んでいる環境対策の一環として、本所駐車場に電気自動車の急速充電器を設置した。電気自動車のインフラ整備に協力することで、CO$_2$削減を目指す。

充電器は、駐車場の国道246号線側入り口に設置。1回600円で30分間充電できる仕組みだ。設置費用の一部には、同店のレジ通過者1人に付き1円を拠出する「じばさんず環境対策活動費」を充当している。

同店では2009年から、レジ通過者からの拠出金を省エネ効果の高いLED防犯灯の購入費用に充て、秦野市防犯協会に寄贈してきた。その他、マイバッグ持参運動や店舗照明のLED化などを推し進め、さまざまな形で環境対策に力を注いでいる。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

親子で3度目の大臣賞

県茶園共進会 成木の部

管理方法に評価／課題解決へ意欲

農林水産大臣賞に輝いた髙梨さん

菩提の髙梨 晃さん

菩提の髙梨晃さんは、11月14、15の両日に開かれた神奈川県茶園共進会の成木の部で、農林水産大臣賞に輝いた。父の孝さんの時と合わせて3度目の受賞。「高い評価をいただくことができ、とてもうれしい」と笑顔を見せる。

共進会では、枝張りや葉層の厚さ、剪定（せんてい）の位置などを審査。全体的に高水準な茶園管理が高い評価を受けた。

ススキなどを土壌にすき込むことで、冬の乾燥を防ぐ他、保肥力を高めていることなども結果につながった。

1953年創業の髙梨茶園の4代目として、茶の栽培や加工技術の向上に日々励んでいる晃さん。県内で唯一茶の手もみ教師の資格を持ち、はだの都市農業支援センターと連携して茶の手もみ体験を毎年実施するなど、茶の魅力を多くの人に伝えている。

晃さんは「まだまだ課題があり、家族の協力があってこその結果。今後も父から教わりながら、自分なりのやり方を確立していきたい」と意欲を燃やしている。

ぬいぐるみに感謝 供養祭でお別れ

セレモニーホール

ぬいぐるみや人形を納める参列者

JAセレモニーホールはだのは10日、ぬいぐるみ・人形供養祭を開いた。参列者約400人が、4300体のぬいぐるみや人形を納め、感謝の気持ちと共に別れを告げた。

供養祭は、地域住民の声に応えて2007年にスタート。今年で10年目を迎え、これまで4万体以上を供養してきた。

会場に、人気キャラクターのぬいぐるみや人形など、大小さまざまなものが並ぶ中、参列者は焼香した。

供養式終了後は、同ホールの18周年内覧会を開催。足柄茶の試飲やお清め料理の試食会を開いた他、追悼映像を上映した。

花で豊かな心を

青年部が32カ所に贈呈

園児にプランターを手渡す髙橋委員長

青年部は5日、市内の保育園や幼稚園、市役所、JA各支所・支店など32カ所に花を寄せ植えしたプランターを配った。

同部が取り組む「花いっぱい運動」の一環で、地場産の花のPRが目的。

今年は、パンジーとガーデンシクラメンを寄せ植えしたプランター150鉢を用意。4日に開かれた「第12回はだの丹沢水無川マラソン大会」のコースに並べて大会を盛り上げた後、部員8人が手分けして市内各所に配布した。

髙橋正宏委員長は西幼稚園を訪れ、園児にプランターを手渡した。園児は「きれいなお花をありがとう」などと笑顔で受け取った。

髙橋委員長は「子どもたちには季節の花を愛でて、豊かな心を育んでほしい。今後も市民に秦野の花をPRしていきたい」と話した。

接近！おじゃまします ㉟

㉟ is not right; number printed: (335)

観光農業を盛り上げたい

堀山下の

村上（むらかみ）　洋（ひろし）さん(31)

1月下旬に戸川に「村上いちご園」をオープンさせる堀山下の村上洋さん。カーネーション農家の長男として生まれ育ち、中央農業高校を卒業後、東京農業大学に進学。その後、家業を手伝う中、もともと興味があったイチゴの観光農業を始めようと、平塚市のイチゴ園で1年間研修に励んだ。現在は家族らと共に、同園のオープンに向けた準備に汗を流している

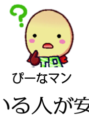
同園は「桃薫（とうくん）」や「よつぼし」など7品種の収穫が楽しめる観光農園。高設栽培を取り入れ、収穫しやすくした他、通路の幅を広くし、車いすの来園者でも気軽に楽しめるよう工夫している。栽培したイチゴは同園で直売する他、じばさんずなどにも出荷していく予定だ。

「カーネーションとは勝手が違うので、全てが試行錯誤」と話す村上さん。品質の高いイチゴを栽培するため、ハウス内の気温などの情報をスマートフォンで定期的に確認できるシステム「みどりクラウド」を導入し、栽培管理に生かしている。近隣でイチゴ園を開いている仲間とは、頻繁に情報を交換。植え付けや施肥のタイミングなどを共有しながら作業を進めている。

村上さんは「協力してくれる農家の仲間や家族にはとても感謝している。今後は園の近くに新東名高速道路のスマートインターも完成するので、多くの人を秦野に呼び込み、みんなで観光農業を盛り上げていきたい」と意欲を燃やしている。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに？？」

人間尊重を説いた賀川


ぴーなマン

協同組合の原点を再確認するために、ＪＡはだのが注目している人が安居院庄七以外にもいるって聞いたんだけど、やえのちゃん知ってる？

やえのちゃん

それは熱心なクリスチャンで消費組合設立運動のリーダーとして活躍した賀川豊彦のことよ。

豊彦は神戸出身で、労働運動や農民運動などをけん引した人なの。「協同組合の国際化による世界平和」という持論の下に、生活協同組合の全国組織である日本生活協同組合連合会の初代会長に就任したの。

「利益より人間尊重の社会を」という精神を説き続けた人なのよ。

ＪＡはだのの本所農業団地センター前に、豊彦が秦野市に滞在していた際に詠んだ歌を記した石碑が設置してあるから、ぜひ見てね。

ぴーなマン

重要な役割を担った人なんだね。ありがとう、やえのちゃん！

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

地域文化に魅力

組合員基礎講座で学ぶ

大山と盆地の暮らし

大山信仰について説明する武氏

JAはだのは20日、本所で第6回組合員基礎講座を開いた。組合員36人が参加。組合員教育対策委員を務める寺山の武勝美氏を講師に「大山と盆地の暮らし」と題した講義を行った。

講義では、地域で受け継がれてきた習慣や伝統行事の他、大山の名前の由来や「大山信仰」の性格などを説明。秦野からの登山コース、道祖神が祭られている場所や石碑などについても解説した。

武氏は、郷土研究に加え、教育や広報など幅広い分野で活躍。6月には、道祖神をテーマにした「Katsumi In道祖神ワンダーワールド」を出版するなど、精力的に活動している。

受講生は「まだまだ知らない秦野の魅力を知ることができて、とても勉強になった」と感想を話した。

地場産農産物 贈ってPR

JAと市に 鉢物部が花

山口組合長に鉢花を手渡す小泉部長

花き部会鉢物部は11月22日、JA本所と秦野市役所を訪れて秦野産の鉢花を贈った。小泉貴寛部長ら4人が、山口政雄組合長と古谷義幸市長それぞれに鉢花を手渡し、今後の支援継続を要請した。

贈った鉢花は、赤やピンクなどのシクラメンの他、色鮮やかな花の寄せ植えなど約30鉢。両者との会談では、花の種類や市場動向などについて意見を交換した。

贈呈した鉢花は、JA本所や市役所庁舎に飾られ、訪れる人の目を和ませている。

子どもらにミカンとバラ

上支所運営委

地場産のミカンとバラを贈呈

上支所運営委員会は13日、上小学校と上幼稚園に秦野産のミカン500個とバラ50本を贈った。同会のメンバー3人が同校を訪れ、児童代表の2年生9人に手渡した。

同会は、今年開いたグラウンドゴルフ大会と上支所まつりで食農教育を目的とした募金活動を実施。今回贈った農産物は、集めた募金で購入した。

当日は、諸星一雄委員長らが「秦野産の農産物で元気に育ってね」などと声を掛けながらミカンとバラを贈呈。その後、上地区と堀西で生産が進んでいる葉ニンニクを紹介した他、「JAはだのみんなで地産地消運動」のちらしも配布して地産地消の大切さを伝えた。

児童は給食でミカンを味わい、バラは各教室に飾った。

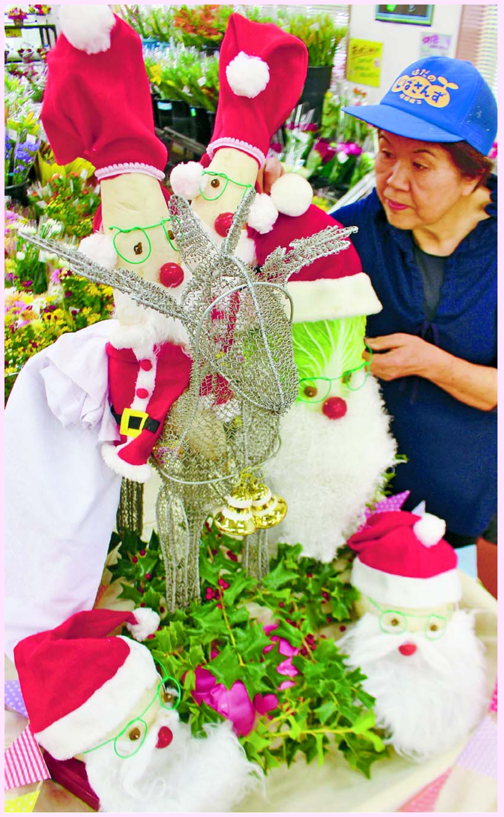
諸星委員長は「子どもらに喜んでもらえて良かった。今後も、継続してイベントを企画し、地域を盛り上げていきたい」と意欲を燃やしている。

華やかにXマス盛り上げ

じばさんずも一色に染まる

12月に入り、秦野市内はすっかりクリスマスムード。じばさんずではJAの直売所らしく、出荷者が地場産農産物で雰囲気を盛り上げた。この時期に需要が高まるイチゴも初出荷を迎え、市内の洋菓子店では秦野産の魅力たっぷりのクリスマスケーキも登場した。

野菜のサンタが来店者楽しませ


地場産野菜でサンタを作る栗原さん

17日には、地場産農産物を使ったサンタクロースがじばさんずに登場。クリスマスの雰囲気を演出し、多くの来店者の目を楽しませた。

野菜のサンタを手掛けたのは、平沢の栗原悦子さん。材料には、自宅で収穫した農産物をふんだんに使用。ダイコンやハクサイ、ミニトマトなどでサンタを作り、周りにはクリスマスホーリーをアレンジした。来店者からは「野菜で作ってあるのが面白い」などと好評だった。

栗原さんは「いつも楽しみにしてくれている人がいるので、使う野菜は毎年工夫している。多くの来店者に喜んでもらえたらうれしい」と笑顔を見せた。

リースや花アレンジ続々

かわいさが人気

「毎年飾ってね」

手作りしたクリスマスリースを手にする小澤さん

じばさんずの店頭には、鈴や松ぼっくりなどをあしらったリースやフラワーアレンジメントなどが続々と並んだ。

落合の小澤みつ江さんは、地元で手に入るツルメモドキやヒムロスギ、松ぼっくりなどを活用したクリスマスリースを出荷。使用するヒムロスギをプリザーブドすることで劣化を防ぎ、リースを数年間楽しめるよう工夫を凝らした。取り付けるリボンなどには緑や赤、金といったクリスマスをイメージさせる配色を心掛け、来店者からは「とてもかわいい」と人気を呼んだ。

小澤さんは「一つ一つ心を込めて作っている。じばさんずのクリスマスの雰囲気を盛り上げたい」と笑顔で話した。

秦野のイチゴが大活躍

質高く新鮮さがケーキにマッチ

秦野産イチゴをふんだんに使った「プレミアムショート」

品質の高い秦野産のイチゴは、市内の洋菓子店などからも引く手あまただ。曲松の洋菓子店「パティスリー クラベリーナ」では、デコレーションケーキに鮮やかな赤色を添え、華やかさを演出。店主の吉田伊織さんは「秦野産は品質が高い上に、新鮮な状態で消費者に提供できるからケーキなどの洋菓子にもマッチする」と笑顔で話す。

店内には、市内の「いちごハウス村上」から仕入れたイチゴを贅沢に盛りつけた「プレミアムショート」などのクリスマス限定ケーキがずらりと並んだ。みずみずしい「章姫」はケーキの上に乗せ、甘さたっぷりの「おいCベリー」はスポンジの間に挟むなど、品種の特徴を生かして使い分ける。甘い生クリームと合わせることで、イチゴ本来のさわやかな酸味も引き立たせた。

地元農家と積極的に連携している同店では、商品説明に農家の名前などを記載するなど、地場産農産物の消費拡大に努めている。

おいしく形や色も良く

出荷は5月上旬まで

イチゴの品質を確認する部員

11月28日には、2016年産イチゴの出荷がスタート。やさい部会いちご部の部員10人が本所選果場に「章姫」と「とちおとめ」を持ち寄り、品質を確認した。来年5月上旬までに11万パック（1パック280グラム）の出荷を見込む。

初日の出荷量は「章姫」が219パック、「とちおとめ」10パックの合計229パック。今年は定植後から日照量が少なく、気温も上がらなかったため生育が遅く、例年より1週間ほど遅い出荷となった。

検査員を務める部員が果実の大きさや色つやをチェックした後、神奈川青果㈱秦野市場などへ出荷。12月上旬には、じばさんずや特産センター秦野・渋沢両店などの店頭にも並び始めた。

飯田進部長は「今年は生育が遅れたものの、形と色も良く、例年以上に品質良く仕上がっている。おいしい秦野のイチゴをぜひ多くの消費者に食べてもらいたい」と話した。

支援に感謝し 市長にキウイ

果樹部会

古谷市長に秦野産のキウイフルーツを贈る部員

果樹部会キウイフルーツ部は9日、秦野市役所を訪れ、秦野産キウイフルーツを古谷義幸市長に贈った。日頃の支援に対する感謝を伝え、継続的な応援を要請した。

贈ったのは「ヘイワード」と、同部が生産拡大に取り組んでいる赤系キウイフルーツ「丹沢レッド」の合計2ケース（1ケース30個入り）。恩蔵和男部長と石原隆男副部長が古谷市長に手渡し、今年の作柄などを説明した。部員が管理する園で鳥獣被害が多発している現状なども訴え、今後の支援について意見を交換した。

文芸愛好会が俳句集を発刊

「むぎぶえ」30号

発刊した俳句集「むぎぶえ」を手にする会員

文芸愛好会は8日、俳句集「むぎぶえ」を発刊した。会員が1年を通じて自然や情景などを詠んだ句を集約した一冊。今年で30号を迎えた。

「むぎぶえ」はB5判23ページで、会員それぞれが12句の作品をつづった。会員が選句から製本まで全て手作りし、80部作成した。活動の成果をPRしようと、JAの各支所・支店や市内の公民館などに配布した。

酒井敏光会長は「むぎぶえを多くの人に見てもらうことで、新たな俳句仲間が増えてくれるとうれしい」と笑顔で話した。

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

88歳（米寿）

▽大根地区＝相原林三（鶴巻南）
▽南地区＝東條玉枝（緑町）須山作造（今泉）
▽上地区＝田中義昭（菖蒲）

77歳（喜寿）

▽大根地区＝鈴木修平（鶴巻）門倉豊（鶴巻南）
▽東地区＝牧嶋章（西田原）山口光一（寺山）
▽南地区＝小清水幸夫（新町）草山清治（平沢）栗原芳江（平沢）栗原栄一（平沢）尾上義治（平沢）斉藤智徳（尾尻）榎本澄子（南が丘）
▽北地区＝髙橋アサ（菩提）
▽西地区＝小林恭子（堀西）谷政雄（千村）川崎美佐子（曲松）

※自己申告ですので、該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

秦野市展にJA特別賞

来年11月まで展示

美術の部　川井知子さん

書道の部　大久保槇子さん

写真の部（普通部門）若井彰さん

第46回秦野市展（美術の部・書道の部・写真の部）が、秦野市文化会館で開かれ、JAはだのから特別賞として秦野市農業協同組合長賞を授与した。

今年の受賞作品は、来年11月までJAはだの本所に展示する。

発見 頑張り屋さん

No.404

何事にも感謝忘れず

菩提の 浅見（あさみ） 千代子（ちよこ）さん（88）

菩提で「あさみ酒店」を営む浅見千代子さん。生まれも育ちも秦野で、女学校を卒業後、現在の北小学校で代用教員として約2年間働いた経験を持つ。その後、親が大正時代に開いた同店で看板娘として働き始めた。現在は一人で切り盛りし「趣味は店番」と笑顔をこぼす。

――商売は？

お酒をはじめ、日用品などを販売しています。昔からのお得意さんからは、今でもごひいきにしていただいているので、感謝の気持ちでいっぱいです。昔のような活気のあるお店ではなくなっているのですが、毎日、店を開けています。

――地域とのつながりは？

店を開けていると、近所の人たちが買い物がてら声を掛けてくれます。世間話をしながら交流を深めています。若い時は「ありがとう」の言葉が恥ずかしくて言えなかったのですが、今では何事にも感謝し「ありがとう」は忘れません。

――JAとの付き合いは？

昔からお付き合いしています。今も定期的に外回りの人が来てくれるので助かっています。この前は米寿のお祝いで記念品をいただきました。

――これからは？

健康管理には気を付け、自分のことが自分でできるうちは店を開け、年相応な働き方をしていきたいと思っています。一日の予定をしっかり立てて、無駄のない生活をしていきたいです。

地産地消の意識向上

大豆プロジェクト

収穫、脱粒作業に汗

女性部が取り組む「自給率向上！大豆プロジェクト」が、作業の大詰めを迎えた。種まきから収穫、調理までの一連の作業を体験することで、地産地消の意識高揚を目指す。

11月に上大槻の畑で、収穫と脱粒作業に汗を流した。

手作業で莢や茎を取り除いた

部員は、機械で脱粒した後に残った莢（さや）や茎を丁寧に取り除き、目の粗いざるを使い細かい砂などを振るい落とした。今年は実入りが良く、粒が大きめ。収量も約126㌔と例年以上の出来となった。

部員は「大豆とごみを分ける作業が細かくて一番大変。でも一連の作業も終盤を迎えると達成感が湧いてくる」と話し、手際良く作業を進めた。2月には、収穫した大豆でみそ作りを行う予定だ。

発表者と応援に駆け付けた部員

大木さん、竹内さんに大きな拍手

生活文化活動体験発表

平成28年度生活文化活動体験発表会（神奈川県家の光大会）が9日、JAグループ神奈川ビルで開かれた。『家の光』の記事活用ならびに女性部活動を通じた体験発表を行い、参加者とともに暮らしの向上を図ることが目的。JAはだのからは22人が参加した。

JAはだのからは女性部活動体験発表の部に東支部の大木トキ子さん、『家の光』記事活用の部に上支部の竹内京子さんが出場した。大木さんは「幸ちゃんからのおくりもの」と題して腹話術人形「幸ちゃん」とさまざまな活動に参加したことを発表。竹内さんは『家の光』に助けられて」と題し、常に身近に『家の光』があったことや、家や女性部活動の中で読み聞かせに活用したことなどを発表した。2人の活動発表に、会場からは大きな拍手が送られた。

いきいき女性部活動

東支部

蓑毛下第２

湯山　マサ子

私たちの班は、義母が女性部のころは部員が8人もいたのに、年とともに辞めていく人が多く、2人だけになってしまいました。

先日は、他の班の人たちと会館に集まる機会があったので、女性部目的別趣味グループの「笑顔（ほほえみ）」さんの健口体操をやってみることにしました。思い切り大きな口を開けて「あ、い、う、え、お」の秦野バージョンから始まり、次に「いい湯だな」のメロディーに合わせて目を閉じたり開いたり、また、口を開いたり閉じたりと楽しんでやりました。

隣近所でも、顔を合わすことが少なくなりましたが、ときどき集まるこのメンバーは、女性部の行事への参加の呼び掛けに応じてくれるのでとても助かっています。これからも声を掛け合い、女性部のいろいろな活動に協力していきたいと思います。

１月の女性部行事予定

６日（金）女性部本部役員会
15：00～大会議室
10日（火）フレッシュミセスのつどい
８：30～東京方面
11日（水）北支部「グルメ旅行」
８：00～横浜方面
12日（木）女性部支部役員会（東）
９：00～東支所・会議室
〃　女性部支部役員会（大根）
９：30～大根支所・会議室
〃　大根支部「親睦会」
11：30～大根支所
〃　女性部支部役員会（上）
13：00～上支所・会議室
〃　女性部支部役員会（西）
13：30～西支所・会議室
13日（金）女性部支部役員会（南・北）
13：30～各支所・会議室
15日（日）女性部企画旅行（16日まで）
６：30～新潟方面
17日（火）ふるさと料理教室（東幼稚園）
９：30～東公民館
〃　女性部支部役員会（本町）
13：00～本町支所・会議室
19日（木）女性部文化交流会
13：00～秦野市文化会館
23日（月）ＪＩＣＡ視察受け入れ
10：30～団地２階・調理実習室
27日（金）上支部「意見交換会」
18：00～かわじ荘
31日（火）上支部「親子恵方巻き作り」
13：30～上小学校

支部だより

全支部

酢の料理教室

女性部各支部は14～16日の3日間、本所で「酢の料理教室」を開いた。エーコープの酢を製造・販売する大興産業㈱から講師を招き「マッシュサラダ」や「そぼろずし」などのレシピを学んだ。

指導を受けながら酢入りの調味料を加える部員㊧

講師は、酢にはカルシウムの吸収率を高める効果などがあると説明してから指導を開始した。

部員は「らっきょう酢」や「合わせ酢」などさまざまな酢を使い、メイン料理からデザートまで5品を教わった。全ての料理に酢を使用することで、万能調味料として活用できることや減塩につながることを確認した。

食を通して親睦深める

JAはが野女性会と交流

地産地消料理を味わいながら交流

女性部は、姉妹提携を結んでいる栃木県のJAはが野女性会との交流会を3～4日、JAはが野管内で開いた。同会の会員ら78人と同部の部員ら38人が参加した。

交流会は「友&愛郷土料理サミット」をテーマに、体験発表を行った。JAはが野は、生産者が安全・安心を軸に特産物の栽培方法や自身のこだわりを発表。JAはだのは、小泉裕子部長が「ふるさと料理教室」などを例に食農教育活動について講演した。その後、それぞれの地産地消料理を紹介した他、食事会を開催した。

交流会後の懇親会では、互いに歌や踊りなどを披露し、親睦を深めた。

大根支部

コンニャク作り

大根支部は6日、本所でコンニャク作りをした。11人が参加。同支部の髙橋時子副支部長の指導で、地場産のコンニャク芋を使って調理を開始した。

部員はミキサーですりつぶした芋に水を加えて煮詰め、火から下ろして凝固剤を混ぜてしっかり固めた。終始、力がいる作業のため、部員は協力しながら芋を練り上げた。固めた後は、ゆでてあく抜きをし、みそ田楽で味わった。

東支部

認知症サポーター養成講座

東支部は13日、東支所で認知症サポーター養成講座を開いた。秦野市から講師を招き、認知症の症状や予防法を学んだ。

部員16人は、認知症の原因などの説明を受け、誰もが発症する可能性があることを認識。予防法や発症した人への接し方などの知識を身に付けた。認知症の家族や地域の人をサポートできるように互いに支え合う必要性を再確認した。

北支部

ミニモップ作り

北支部は13日、北支所で『家の光』7月号に掲載された「ミニモップ」作りをした。

ミニモップは、割り箸とアクリルの毛糸を使った「はたき」のような形をしたもの。部員13人が、黄や赤、青などカラフルな毛糸でモップを作成。30分程度で作り上げ、1人2個完成させた。

部員は「飾ってもかわいい。簡単なので孫と作りたい」と話した。

2016年度女性部座談会日程表について

	午前９：30～同11：30	午後１：30～同３：30
	会　場	会　場
１月27日（金）	大根支所（大根）	南平会館（大根）
	宮町会館（南）	蓑毛下会館（東）
		かわじ荘（上）午後４：30～
１月30日（月）	名古木会館（東）	本町支所（本町）
	渋沢公民館（西）	堀山下関自治会館（西）
１月31日（火）	鶴巻支店（大根）	三屋会館（北）
	東支所（東）	
	西支所（西）	
２月１日（水）	北矢名児童館（大根）	秦野駅前支店（南）
	西大竹会館（南）	菩提中会館（北）
	黒木欠畑会館（西）	

告知板

ソフトボール大会を開催

組合員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的に「第28回JAはだの組合員ソフトボール大会」を開催します。ソフトボールを楽しみながら気持ちの良い汗を流しませんか。

◎開催日時　3月5日（日）午前9時開会

※雨天の場合は11日（土）午前9時開会。両日が雨天の場合は中止。

◎会場　おおね公園多目的広場

◎チーム編成　組合員（家族を含む）を過半数以上含む9人以上15人以内（内女性1人以上）のチームとし、試合中は女性1人が常時出場する。ただし、男性の高校・大学在学中の者は除く。人数には、チーム代表者および監督を含む。

◎募集チーム　各地区1チーム以上

◎試合方法　トーナメント方式

※ルールは第28回JAはだの組合員ソフトボール大会実行委員会およびチーム代表者会議で決定する。

◎申し込み方法　参加申込書に必要事項を記入し、1月26日（木）までに各支所・支店に提出してください。

お問い合わせは生活福祉課まで。☎81－7717

「婚活パーティー」を開催

結婚相談事業の一環として「アーリーバレンタイン婚活パーティー」を開催します。今回は女性の方を募集します。新たな出会いの第一歩として、ぜひご参加ください。

◎日時　2月4日(土)午後1時30分～同4時

◎場所　本所3階虹・百合の間

◎募集人数　15人程度（定員になり次第締め切り）

◎参加費　1000円

◎申込期限　1月6日（金）まで

会話を楽しみながら、ぴったりのお相手を探してください。

お申し込み、お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

共済保障見直し休日相談会

ひと・いえ・くるまの保障についての無料相談会を開きます。個別にご相談をお受けいたしますので、お気軽にご来所ください。

◎日時　1月14日(土)午前9時から午後4時まで

◎場所　南支所

ご予約・お問い合わせは南支所まで。☎81－0268

男の料理教室の参加者を募集

男性を対象に、地場産農産物を使った料理教室を開きます。みんなで楽しくおいしい料理を作ってみませんか。

◎日時　2月12日(日)午前9時30分～

◎場所　農業団地センター2階・調理実習室

◎メニュー　手打ちそば、野菜のかき揚げ

◎募集人数　20人

◎参加費　1人500円

※2月3日以降のキャンセルは返金できません。

◎持ち物　エプロン、三角巾、ふきん

◎申込期限　1月27日（金）までに申込書と参加費を各支所・支店または生活福祉課までお持ちください。

お問い合わせは生活福祉課まで。☎81－7717

東支所の自動精米機入れ替えについて

東支所のもみすり機能付き自動精米機が、更新による入れ替え作業のため1月25日（水）は終日使用できなくなります。

また、作業に伴い、東支所を大型車が入出庫いたしますので、ご利用の際は、ご注意くださいますようお願い申し上げます。

ご利用者の皆さまにはご不便ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

生産緑地地区の取得あっせんについて

秦野市より生産緑地法第13条に基づき、次の通り生産緑地のあっせん依頼がありました。

◎土地の所在および地番　平沢800番

◎地目　畑

◎面積　565平方㍍

農業に従事される方で、生産緑地として取得を希望される方は、2月22日（水）までに秦野市都市政策課都市計画担当までご連絡を。☎82－9643

営農技術　ヒント・ポイント

農業技術センター　0463-58-0333
普及指導部――果樹花き課　果樹（伊藤）
野菜課（江口）
作物加工課　作物（辻本）
協力
農業技術センター足柄地区事務所　0465-83-5111
普及指導課――花き（勝間田）

経営

施設・ハウスの雪害対策

2014年2月の大雪による被害は記憶に新しいところです。今年は11月に降雪がありました。「積もらないだろう」と油断せず、施設・ハウスの点検を行い、本格的な降雪に備えましょう。

【日頃の点検・補修】

○ブレースや筋交いの緩みを点検。

○基礎部、接続部分の他、谷樋（たにとい）や柱に腐食やサビがないか確認。

○中柱やワイヤー、つっかえ棒などで補強の準備をしておく。

【雪の予報が出たら】

◎雪を溶かす準備

○暖房機の燃油残量と正常作動を確認する。

○谷樋やハウス際の落ち葉やごみを取り除き、温室・ハウス周囲に排水路を確保する。

◎積雪の防止

○被覆材表面の突出物やたるみ、ネットなど、雪の滑落を妨げるようなものを除去する。

○作物を栽培していないハウスの被覆資材を除去する。

【雪が降ったら】

○内部被覆を一部または全部開放にする。

○サイド被覆の巻き上げは完全に下ろさない。完全に下ろすと積雪で開けられなくなる場合がある。

○加温機は降雪前から加温する。

○連棟ハウスでは谷部分が融雪するようにダクトの配置を変える。

【雪の量・重さを理解する】

水分をあまり含まないさらさらの雪（雪玉が作れる程度、雪と水の重さが同じ）の場合、1㌢の降雪で1平方㍍当たり1㌔荷重がかかります。

雪の予報が出たら、降水量から積雪量を計算し、ハウスにかかる雪の重さを推測しましょう。14年2月14日の大雪が降った日の小田原気象台の観測データは、降水量40㍉なので、雪の重さに換算すると同40㌔、水分を多く含む雪の場合や積雪後に降雨やみぞれになる場合はさらに重くなります。

【事後対策】

○ハウス各部の損傷や緩みを確認する。

○冷水による地温の低下を防ぐため、マルチなど保温対策を取る。

○積雪による日照不足や多湿が続く場合、病気の発生の恐れがあるため、早めの防除を心掛ける。

（勝間田）

じばさんず NEWS

【１月のイベント】

- ☆「初売り」４日（水）
  福袋を30個販売します。
- ☆「七草がゆ」７日（土）
  野菜ソムリエがおかゆの試食を用意します。
- ☆「ユースマルシェ」７日（土）
  青年部員がカブ、長ネギ、ダイコン、花きなどを対面販売します。
- ☆「がんばれ受験生」８日（日）、９日（月）
  合格祈願米など、受験生を応援する商品を販売します。
- ☆「鏡開き」９日（月）
  無病息災を祈って、おしるこを無料配布します。
- ☆「おすすめ品フェア」14日（土）、15日（日）
  お酒のおつまみになるおすすめの乾物などを対面試食販売します。
- ☆「冬の健康対策」15日（日）
  生姜糖や甘酒など、体が温まる食品を紹介します。
- ☆「大寒卵」20日（金）
  １年で最も寒い時期（大寒）に産まれた卵は滋養豊富で健康に良いといわれています。その日産みたての卵を数量限定で販売します。
- ☆「国産加工豚の日」21、28日の土曜日
  ㈱フリーデンが国産豚を使用した加工品を試食販売します。
- ☆「寒締めほうれん草祭り」22日（日）
  寒さに当たって甘みが出た栄養たっぷりのホウレンソウを販売します。
- ☆「農村レストラン弁当」24日の火曜日
  農家のお母さんの手作り弁当です。秦野産野菜がたくさん入っていておいしいです。
- ☆「みかんまつり」28日（土）、29日（日）
  秦野産ミカンの試食販売です。食べ比べて、自分好みのミカンを見つけてみては。
- ☆「試食の日」毎週火曜日
  生産者が出荷している旬の野菜の紹介・レシピを紹介します。
- ☆「お米の日」毎週水曜日
  店頭価格から10％引き。
- ☆「お肉の日」毎週木曜日、29日（日）
  店頭価格から５％引き。
- ☆「たまごの日」毎週金曜日
  店頭価格から10％引き。

今月の生産者

本町の **草山（くさやま） 茂夫（しげお）** さん

出荷品目　パンジーや葉ボタン、野菜苗などの鉢物200種以上

四季折々の花を生産し、消費者に１年を通してさまざまな花を愛でてもらえるように、ほぼ毎日出荷に来ています。これからも流行の情報を取り入れ、魅力のある花を提供していきたいです。

JA正職員（新卒・中途採用）を募集

●応募資格	大学・短大を2017年3月に卒業予定の方、または大学・短大を卒業し2017年3月末で30歳未満の方（市内および隣接市町に在住の方）
●募集人員	若干名
●職種	JA業務全般（事務・渉外・店舗など）
●受付期間	2017年1月16日（月）まで
●勤務開始日	2017年4月からを予定しています
●応募方法	下記ホームページの採用情報欄をご覧ください
●問い合わせ先	〒257-0015　秦野市平沢477番地 秦野市農業協同組合　企画管理部総務課　人事教育係 ☎0463-81-7711（平日の午前8時30分から午後5時まで）

■ホームページアドレス　http://ja-hadano.or.jp/

文芸の窓

＜俳句＞（酒井　敏光　選）

風少し夕日離さぬ木守柿　柳川みち子（栄　町）

評　おそらくは枯れ枝となった枝先の竿でも届かない頂上付近の残り柿ではないか。没日の紅が高枝に残る二、三をより照り染めている印象が鮮明である

川見れば早冬色となりにけり　佐藤英美子（南矢名）

評　落ち葉済み枯れ木の多くなるこの季節。景色をなしていた川もよくよく見るとこれまた冬のそれとなって静かさを醸していると云うのだ

指し下駄の月に凍えし路地の音　森高　由子（渋　沢）

冬うらら人肌ほどの石に座す　高島美和子（名古木）

阿夫利嶺に雪の載るころ孫の来る　芦川　松江（八　沢）

幼き日炭火焼く餅祖母の夢　石原　松枝（渋　沢）

父が引き母が束ねて干す大根　酒井　紗恵（桜　町）

重ね着を晒う野地蔵よだれかけ　柴崎　和子（渋　沢）

音消してスーパームーン海の原（わたのはら）　高橋　順子（大秦町）

サイレンの遠退くストーブの火を落とす　選者

＜短歌＞（久保寺　富男　選）

小さめのパックの総菜選びいる
翁は独居の寂しさを言わず　今井　かめ（羽　根）

評　高齢者大国といわれて久しい。この作品身につまされる。歌の意は自ずから明瞭である。原作の結句は「寂しさを持つ」であったが、このように改めた。歌は余韻が大切。

おのが歌墓碑に刻みて逝きし友
跡継ぎのなく訪う人もなし　八木　実（鶴巻北）

黄葉のえのき大樹は霜月の
雪に裂かれて杣道ふさぐ　細田　富士（千　村）

大掃除の棚に見つけし孫の絵の
クレヨンの匂い今もあざやか　久保田　浩（寺　山）

異常雪十一月の朝方に
真竹礼させ道行はばむ　伊東　久（渋　沢）

どれほどの時間を共に後生きむ
思へば反論の言葉のみこむ　選者

年末年始業務のお知らせ

ＪＡはだのの年末年始の一般業務は、年内は12月30日（金）午後５時まで、新年は１月４日（水）の午前８時30分からです。

それ以外の業務は次の通りです。

金融関係▶ＡＴＭ＝３日（火）のみ不稼動（上支所は31日（土）から３日（火）まで不稼動）。稼働時間は、午前８時30分から午後９時（特産センター渋沢店のみ午前９時から午後９時）。

キャッシュカードなどの紛失・盗難

▶**キャッシュカード・通帳**＝31日（土）から３日（火）は、ＪＡバンク神奈川盗難・紛失受付専用ダイヤル☎0120―50―9674。

▶**ＪＡカード**＝ＪＡカード（ニコス）☎0120―15―9674。

共済関係▶**自動車事故**＝31日（土）から３日（火）は、24時間受け付けのフリーダイヤル☎0120―258―931へ。４日（水）以降、共済課より連絡。

経済関係▶**西給油所・東給油所**＝年末は31日（土）まで、年始は３日（火）から営業。ただし31日（土）、３日（火）の営業時間は午前７時30分から午後６時まで。

▶**指定給油所**（神奈川石油㈱直営店）＝セルフＲ246ハタノ（名古木）、セルフ片岡（平塚市片岡）、セルフ中井（中井町井ノ口）：年中無休（24時間営業）。

▶**プロパン**＝年末は30日（金）まで、年始は４日（水）から平常業務。31日（土）から３日（火）まで全農保安センターが24時間対応。☎046―231―2014。

▶**灯油の配送**＝年末年始の配送については、最寄りの各支所・支店までお問い合わせください。

▶**重油の配送**＝小型配送：29日（木）午後４時までの受注分は30日（金）に配送。大型配送：28日（水）午後５時までの受注分は31日（土）、２日（月）、３日（火）に配送。29日（木）～30日（金）の受注分は４日（水）以降に配送。

▶**セレモニーホール**＝年末は31日（土）まで。午前８時30分から午後５時までは同ホールへ連絡。31日（土）午後５時から３日（火）は☎0463―83―2727に連絡。４日（水）から平常業務。３日（火）の通夜対応可

営農関係▶**ＪＡグリーン・農機センター**＝年末は30日（金）まで、年始は４日（水）から平常業務。

▶**農機緊急対応**＝31日（土）から３日（火）は担当職員が自宅待機。携帯電話090―4937―1764（小泉センター長）

▶**施設暖房用機械故障の対応**＝ネポンサービスセンター☎046―247―3195

▶**東支所もみすり機能付き自動精米機**＝年末は31日（土）午後６時まで、年始は３日（火）午前７時30分から営業。本所・大根支所・北支所の自動精米機は24時間365日使用可能（もみすり機能はありません）。

店舗関係▶**じばさんず**＝年末は31日（土）まで、年始は４日（水）から営業。ただし31日（土）の営業時間は午前９時から午後３時。

▶**特産センター秦野・渋沢店**＝年末は30日（金）まで、年始は４日（水）から営業。ただし31日（土）は午前９時から午後７時まで、４日（水）は午前９時から午後６時まで営業。

▶**西直売センター**＝年末は30日（金）まで、年始は４日（水）から平常業務。

はだの都市農業支援センター＝年末は28日（水）まで、年始は４日（水）から平常業務。

㈱協同コンサルトはだの＝年末は26日（月）まで、年始は６日（金）から平常業務。

今月の理事会

12月21日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2017年度事業計画基本方針（素案）について

▽役員体制の見直し（継続案）について

▽就業規則の変更について

▽育児・介護休業等取扱規程の変更について

▽パートタイマー就業規則の変更について

▽懲戒規程の変更について

▽職制規程（職務権限明細表）の変更について

▽延滞債権等の処理方針について

▽延滞債権の譲渡について

▽高額貸出金の借入申し込みについて

受賞おめでとう！

日頃の成果を発揮

やさい部会いちご部は6日、市内圃場（ほじょう）を巡回して立毛品評会を開いた。審査の結果は次の通り。

◎優秀賞＝片野和彦（戸川）北村彰（堀山下）須藤操（菖蒲）山口新次（堀西）村上幸雄（堀山下）◎優良賞＝小泉芳雄（名古木）諸星恒夫（堀西）飯田進（堀西）◎佳良賞＝桐生一義（堀西）町田利雄（羽根）

◇

神奈川県いちご品評会が13、14の両日、県内圃場を巡回して開かれた。審査の結果は次の通り。

◎入選＝須藤操（菖蒲）北村彰（堀山下）片野和彦（戸川）

◇

やさい部会露地部は、11月22日と12月8日に市内圃場を巡回して、立毛品評会（キャベツ・ブロッコリーの部、ダイコンの部）を開いた。審査の結果は次の通り。

【キャベツ・ブロッコリーの部】

◎優秀賞＝田中和幸・キャベツ（上大槻）◎優良賞＝小清水伸一・キャベツ・ブロッコリー（下大槻）◎佳良賞＝今井洋司・キャベツ（横野）三武利夫・キャベツ・ブロッコリー（堀西）仲戸川賛治・ブロッコリー（堀山下）山口啓三・キャベツ（堀西）田中和幸・ブロッコリー（上大槻）

【ダイコンの部】

◎優秀賞＝横尾良男（曽屋）◎優良賞＝古藤登（曽屋）

結婚相談日
1月10日（火）
時間　午前9時～正午
場所　ＪＡはだの本所
農業団地センター１階
お問い合わせ
組織教育課☎８１－７７１４

税務相談日　1月10日（火）午前9時30分～
法務相談日　1月20日（金）午後1時30分～
場所　ＪＡはだの本所２階
組織教育課
☎８１－７７１４
・予約制となっていますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
・受け付け順に相談時間が決まります。

お詫びと訂正

「ＪＡはだのカレンダー2017」に掲載した「2016年度農作業安全標語入賞作品」について、誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤：春日町　小室　幸雄
正：春日町　小宮　幸雄
誤：豊作に願い込めて　正しい散布（南矢名　今井　義郎）
正：豊作に願いを込めて　正しい散布（南矢名　今井　義朗）

住宅ローン　年金受給手続　休日相談会

●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を承っております。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

日時　1月29日（日）
※時間は午前9時～午後4時まで
どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

会場　JAはだの本所　農業団地センター
ご来場の方に記念品を進呈

それぞれ事前予約をされると便利です。
◈住宅ローンを相談される方は融資課に
◈年金受給手続きを相談される方は信用課に

JAはだの本所
秦野市平沢477

■融資課 ☎81-7713 当日は 0120-954-093
■信用課 ☎81-7716 当日は 0120-954-092

2016年度書道・図画・作文コンクール

入賞作品【秦野市農業協同組合長賞】

ＪＡはだのは、次世代を担う子どもたちに豊かな心を育んでもらうことを目的に、小・中学生、高校生を対象に「書道・図画・作文コンクール」を開きました。今月は「作文の部」の秦野市農業協同組合長賞3点と秦野市長賞、秦野市教育長賞の受賞者を紹介します。

ミニトマトをそだてたよ

北小学校1年

卓（たく）　鈴莉（りり）

わたしはきょねん、ようちえんでミニトマトをそだてました。ミニトマトがおいしくてだいすきになったので、ことしはおとうさんとミニトマトをそだてました。3さいのおとうともトマトがすきなのでいっしょにそだてました。

ミニトマトのなえを2つかってきてうえました。うれしくて「おうじ」と「あいちゃん」とミニトマトになまえをつけました。ちいさいなえがすこしずつおおきくなって、きいろのちいさいきれいなはながさきました。わたしはあさとゆうがたにまいにちみずやりをしました。おとうともようちえんからかえってきたらみずやりをしました。なかなかみがおおきくならないのでおとうさんとひりょうをかってきてつちにまぜました。すこしするときみどりいろのちいさなみがなりました。ぶどうのふさみたいにたくさんみがなりました。とてもうれしくてたくさんしゃしんをとりました。きみどりだったみがどんどんおおきくなり、きいろとあかいミニトマトになりました。はじめてなったミニトマトをはんぶんにきっておとうとたべました。あまくてとてもおいしかったです。おとうとはミニトマトがあかくなるのをまてないので、まだかたいきみどりいろのミニトマトをとってしまいます。わたしは「あかくなるまでとったらダメだよ」、おとうとになんかいもいいました。

たくさんミニトマトがなってサラダ、スープ、パスタにしてたべました。おかあさんといろんなおりょうりをつくりました。わたしはミニトマトとたまごをバターでいためたりょうりがおいしくていちばんすきです。おかあさんとおひるごはんによくつくりました。

じぶんでそだてたミニトマトをつかって、おりょうりをしてたべることがとてもたのしかったです。

新鮮野菜をとおして

末広小学校5年

廣瀬（ひろせ）　百萌（もも）

今年の夏は豊作だったのかな？「食べてもらえる？」「おいしいかどうか分からないんだけど…」そう言って、たくさんの新鮮野菜を近所の方からたくさんもらいました。なす、ピーマン、トマト、きゅうり、ゴーヤなど、台所に山盛りにありました。スイカも、もらってスイカ割りも楽しみました。今年の夏は台風が何個も秦野に近づいて、大変だったと思います。台風の前の日、ミニトマトをくれたおじさんは、大きい大きいカゴにミニトマトを山盛りとっていました。赤い実の他にまだ少し色のついてない物もありました。（どうしてだろう？）と思っているとおじさんがお母さんに教えていました。トマトは、水をあげすぎると実がパチッと割れてしまうんだそうです。だから、台風が来る前に、若い実もとってきたそうです。それから、その赤くなってない実も2～3日すると、とった後でも、赤くなると教えてくれました。私は、その様子を見て観察しました。本当に少しずつ赤くなっていきました。その様子が楽しくて、野菜を育てるのは、楽しそうだなあと思いました。おじさんは、レタスやキャベツを買う時は、重い物よりも軽い物を選んだ方がいいことやピーマンは皮がかたくて、ハリのある物が新鮮だということを教えてくれました。私は、お母さんの横で、（へえー、そうなんだ！いいこと知ったなあ）と思いながら、聞いていました。

おぼん休みのころ、私は高知のおばあちゃんの家へ遊びに行きました。ひいおばあちゃんもしゅみで野菜を育てています。「今日はこれだけとった」と言うので見てみると私の足の大きさのナスや、どうやって食べるんだろう？と思うぐらい大きなオクラなどがしゅうかくするカゴにたくさんありました。私が秦野の家で家族九人で食べる野菜の何倍もです。「二日位、具合が悪くて、しゅうかくしなかったら、こんなに大きくなった」と笑っていました。ひいおばあちゃんは一人ぐらしです。なので食べきれないので、「どんどん持って行っていいよ」と、高知でもたくさんの野菜をくれました。「せっかく育ったものを捨てるのは、もったいないからね」とひいおばあちゃんの冷ぞうこや冷凍室は調理をした野菜たちでぎゅうぎゅうでした。ひいおばあちゃんは、「ももちゃんが近かったらいつでも届けてあげるんだけど、神奈川は、遠いからね…」とさみしそうに言いました。私もちょっとさみしくなりました。

ないしょだけど私はナスが苦手。でも、ナスをもらう時はうれしい気持ちでいっぱいです。野菜を作るってことは、お休みできない大変な作業、ありがたくいただいておいしく食べることが、お野菜をくれるみんなへのおんがえしかなと思っています。

農家の危機

南中学校2年

山口（やまぐち）　綾太（りょうた）

私の家は農家です。みかんをはじめ主に根菜類を中心に野菜を栽培しています。親せきも農家が多いため、家で栽培していない野菜と家の野菜を物々交換したりして、幸いな事にいつも新鮮な野菜を食べる事が出来ます。私には普通のことですが、都会に住む人にとってみればすごい事のようでこの間、こんな事がありました。

家に来たお客さんに採れたてのキュウリをあげた事がありました。そのお客さんから手紙が届き、あんなに新鮮なキュウリを食べた事がない。東京のスーパーではキュウリのトゲが痛い程、とがっている事は少なく、大変美味しく食べさせていただきました。というようないい内容でした。いつも普通に食べていた野菜だけどそのときは「人にそんなことを思わせることができるのか」と思うと同時にありがたく食べ物を食べました。私は中学校入学してから、部活や習い事であまり家にいる事がなく、夕食も家族と一緒に食べる事がとても少なくなりました。でも中学では小学校と違いお昼は親の手作り弁当です。朝食をあまり食べないで学校に行くときには唯一の楽しみです。あまりにもお腹がすいているし、昼食時間もとても短いので、いつもご飯をおもいっきりかき込んでしまい、しゃっくりが止まらなくなってしまいます。しゃっくりが直ると、やっと落ちついて食べる事ができます。最後に残るのは口直しにいつもとっておいていたキュウリの浅漬けです。はしでつまんで一秒キュウリをみつめた後、カリカリ。美味しい。と思いつつ、東京の人にはこれが新鮮な味なんだ。と思いました。

私の家は専業農家ですが、農業もなかなか厳しくなっているのが現状なようです。農家離れや、高齢化問題、害虫や害獣（イノシシ、シカ、ハクビシンなどの被害）、ＴＰＰ問題など様々な問題をかかえているようです。うちの町内でもそうですが、高齢化により畑で作物を栽培する事が出来なくなり、荒れ地になっている畑をよく目にします。家では父母、祖父、祖母。四人でやっていますが、やはり祖父母は高齢であまり無理を出来ません。機械を導入し、なんとかやっているようです。ですが簡単な物ではなく、手作業でやらなくてはいけない所も数多くあり大変だな。と自分の親ながら思います。一生懸命に育てた野菜を一瞬にして台無しにしてしまうイノシシ、シカ、ハクビシンの被害も大きな問題の一つです。先日、サツマイモの畑を一晩で二せ（60坪）も荒らされてしまいました。

昨年も被害にあっていましたが、これ程ひどく荒れた事はありませんでした。両親が夜の八時頃、畑を見に行くとイノシシの親子が十頭くらいすごい勢いで走って逃げて行くのを目撃しビックリしていました。イノシシに罪は無いし、動物の愛護からすれば殺すという事はかわいそうだけど、農家にしてみれば一生懸命育てた野菜は子供のようであり、子供が殺されてしまった。と親は感じるといっていた。祖父は、とても嘆きました。今は電気柵を畑の周りにはってしのいでいましたが、今後被害が拡大するのではないかと思うと、ゾッとしました。

今まで家の農業のことを書いてきて、正直こんなに農業のことを考えたことは無かったですが、いろいろ考えさせられましたがやはり一番に思う事は、新鮮で安心して食べられる作物を作り、お客さんに美味しいと言って喜んでもらえる事だなーと思いました。

秦野市長賞

北村（きたむら）　理矩（りく）（西小2年）
大原（おおはら）　睦実（むつみ）（北小5年）
立石（たていし）　大輝（ひろき）（南が丘中3年）

秦野市教育長賞

佐野（さの）　椋ノ介（くらのすけ）（渋沢小3年）
窪嶋（くぼしま）　蓮菜（れんな）（東小4年）
守屋（もりや）　凜矩（りく）（南が丘中1年）